

クロレラ 入り有機ケイ酸液肥

ハード葉素 1号・2号

葉面に強靱な厚いシリカ層を形成させる耐病活性剤



芝

リゾクトニア性春はげ症
ラージパッチ
ブラウンパッチ
葉枯病
ダラスポット

蔬菜

うどんこ病・炭 索 病
菌 核 病・ベ と 病
腐 敗 病・葉 枯 病
灰色カビ病・褐 斑 病

成分(%) 2kg(1.8L)×10本=1ケース

1号	ケ イ 酸	キレート鉄	苦 土	マンガン	ホ ウ 素	クロレラ	黒 糖
	全 量 内水溶性 21.0 10.0	2.0	5.0	0.5	0.3	1.0	10.0
2号	ケ イ 酸	キレート鉄	苦 土	マンガン	ホ ウ 素	クロレラ	黒 糖
	全 量 内水溶性 21.0 10.0	—	8.0	0.5	0.3	1.0	10.0



サン化研株式会社

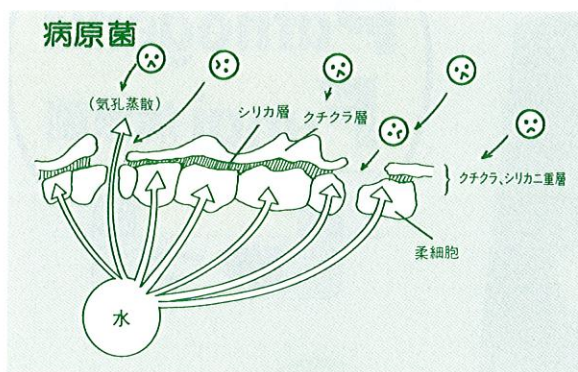
クロレラ入り有機ケイ酸液肥

ハード葉素

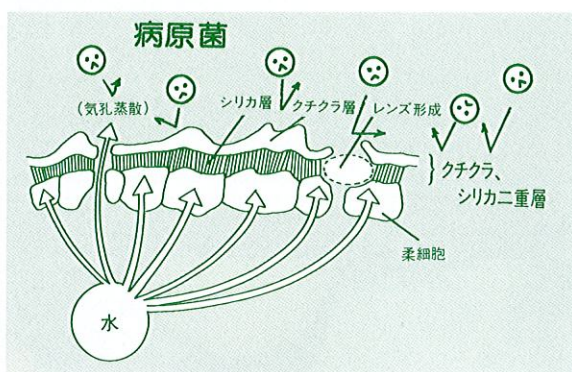
1号・2号

葉面に強靱な厚いシリカ層を形成させる
耐病活性剤

ハード葉素散布による葉面変化模式図



使用前



使用後

京都大学名誉教授 高橋英一 博士学説による

- シリカ層が未発達の場合、気孔が開放された状態のため、取込んだ水分が蒸散してしまう。
- シリカ層が厚く形成されている場合、気孔が縮度を増し、レンズを形成し、結果光合成の促進、水分蒸散の適化、病原菌侵入の抑止等の効果が生まれる。

特徴

1. 病気に強くなる。

表皮組織に強靱な厚いシリカ層を形成するため、あらゆる作物を強剛にし、病原菌の侵入を防止します。

2. 葉茎が“かため”になる。

ケイ酸をとりまく含有・有機成分は、散布(注入)により葉面、根群から作物に取込まれ、結果芝生は勿論、蔬菜、果樹、花卉等の葉茎が“かため”となり健全な生育を維持します。

3. 緑色作物はみどり色、赤色作物はあか色が鮮やかに着色する。

含有キレート鉄、苦土、クロレラ等の色素形成や色素吸収の働きで鮮やかなみどり色、赤色を着色させる効果を発揮してくれます。

光合成細菌体(クロレラ)中の色素含有量

色 素	光合成細菌 r/100 g	酵 母 r/100 g
細菌性葉緑素	56.1mg/g	—
カロチノイド総量	41.7mg/g	—

日土肥誌 第46(第4号) 光合成細菌の基礎と応用(京大農 小林)より

砂耕トマトに光合成細菌(クロレラ)を施用した場合の果実中の色素含量

	色 素 含 量	果実中の色素含有率
対 照 区 (無機肥料のみ施用)	478 μ g/100g 新鮮重	0.000478%
処 理 区 (無機肥料+光合成細菌)	810 μ g/100g 新鮮重	0.000810%

(日本土肥誌 第45巻 第7号(1974) 京大農 小林)

使用方法

● 芝生の場合……1号使用

タンク車(水1,000ℓ)にハード葉素2kg(1本)を入れて500倍液とし、約2面(≒1,000㎡)に散布して下さい。

(500倍液 1ℓ/㎡……基本)

時期は春期(3月~5月) 夏期(7月~8月) 秋期(9月~10月)に病害予防と“かため”の芝づくり等の目的に合わせて散布して下さい。

● 蔬菜、果樹、花卉の場合……2号使用

動霧タンク(水500ℓ)にハード葉素2kg(1本)を入れて250倍液とし、10a当り300ℓを葉面表裏に散布して下さい。

時期は、例えばイチゴのうどんこ病予防の場合、発生が予想される10~15日前に散布して下さい。(生育期間中3~4回散布を繰り返す。)